

令和 6 年度定例会 6 月会議開会挨拶（令和 6 年 6 月 20 日）

令和 6 年度定例会 6 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

6 月 11 日、開催された第 75 回北海道町村議会議長会定期総会の決議は、雄大な自然に恵まれた北海道は食糧供給、水源涵養、国土保全、脱炭素など住民生活にとって欠かすことのできない役割を果たすとともに、地域資源を活かした産業を創出し地域に根づいた豊かな伝統文化を育んできた。しかし、少子高齢化の進行に加え、担い手不足が深刻化し、地域活力が減退、頻発する自然災害や原油価格・物価の高騰が基幹産業である農林漁業をはじめとする地域経済・住民生活に深刻な影響を及ぼしている。

われわれ議会人は、これらの課題解決のため、住民の代表たる責務を自覚し、清新で活発な議会活動になお一層努めるとともに、持続可能なまちづくりのため、住民の負託に応えなければならないとして、

- ① 議会機能の強化、多様な人材が参画する環境整備の推進
- ② デジタル技術を活用した地域活性化の推進
- ③ 防災・減災対策の強化、国土強靱化の推進
- ④ 地域の特性を踏まえた持続可能な地域社会の実現等

15 項目の決議と「議員報酬適正化に関する特別決議」、14 件の地区要望事項を北海道町村議長会の総意として採択致しました。

6 月 7 日、経済財政運営と改革の基本となる「骨太の方針 2024」の骨子案が示されました。経済を新たな成長段階に進めるためにも、物価上昇を上回る賃上げの実現が重要とし、労働市場改革・企業の価格転嫁対策への取組み、全世代型社会保障の構築、少子化対策の充実をあげ、基礎的財政収支の黒字化を視野に財政健全化を目指すとしております。

福島町議会としても、厳しい現況を受け止め、持続可能な町づくりの課題解決に向けて行政としっかり対峙し、より住民の側に立って活動することが、議会・議員の責務であるとの認識をさらに深め、議会活動に取り組んでいかなければなりません。

出席者各位には、本 6 月会議の議事運営にご協力いただきますようお願い申し上げ、活発な討議が展開されますことを期待して開会の挨拶といたします。